

置高だより10月号 滝つ瀬

平成30年10月31日(水)
北海道置戸高等学校
Tel 0157-52-3263
FAX 0157-52-3290
U R L <http://www.oketo.hokkaido-c.ed.jp>
E-mail oketo-z0@hokkaido-c.ed.jp

「心のつながりが大切」

校長 坂本 浩 哉

置戸町は「緑と清流のまち」と言われ、町の面積の87%が森林に囲まれた農業と林業の町です。

先日、町内施設の視察で、新生紀森林組合の作業現場や工場作業現場を見学しました。機械を使っの伐採作業やラミナ材と呼ばれる製材過程など、初めて目の当たりするものばかりでした。今の時代、チェーンソーなどで行う伐採ではなく、大型機械による伐採作業で約10倍の作業効率を生んでいるとのこと。ラミナ製材は、2020東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場である新国立競技場のスタンド観客席の大屋根に置戸産の木材が一部使用され、置戸の木材の価値アップに貢献していることなど、多くのことを見聞できました。

植林は手間と時間がかかります。今回、60年経った一般民有林のカラマツの伐採作業を見学しましたが、伐採した後の用地のことが気になり、森林組合のかたに聞いてみました。そうすると後継ぎがいなく、この後の植樹をしない人も多くいるとのこと。その話を聞き、なんだか寂しさを感じざるを得ませんでした。

わが町、わが高校を思う時、活性化するために自分は何を学び何ができるのか。目先のことだけにとらわれることなく、先を見据えた目が必要です。そのために未来に伝えていかなければならない思いは、人の心のつながりが大切であると、改めて考えさせられた一日でした。

全国高校生介護技術コンテスト

10月21日(日)に山口県で実施された第7回全国高校生介護技術コンテストに北海道代表として3年のY.NさんとA.HさんとK.Tさんが出場しました。

全国大会出場を決めてから、放課後に毎日練習し、試行錯誤しながら一生懸命事例課題に取り組んできた3名。ピリピリとした緊張感が漂う全国大会当日も落ち着いて、置戸高校生らしい介護技術を披露してくれました。全国の高校福祉科のレベルも肌で感じたことでしょう。

後輩たちの大きな励みにもなりました。



コンテスト本番の様子です。



奨励賞をいただきました。

意見・体験発表大会

8月24日(金)に江別高校で行われた、北海道高等学校長協会家庭部会意見・体験発表大会に、2年のS.Kさんが参加しました。

介護実習の体験を発表したS.Kさん。他校の生徒の前で堂々と自分の意見を述べるという貴重な体験ができました。



緊張しましたが、みなさんに伝えるように発表できました。

3年生 進路出陣式

9月10日(月)、就職活動解禁に向けて、進路出陣式が行われました。

進学や就職に向けての決意を述べ、進路決定や国家試験への取り組みについての気持ちをクラス全員と共有しました。

面接練習や小論文の取り組みなど、それぞれ頑張っています。



進路も国試も最大限の努力を！
努力があつてこそ本番で最高の力が発揮できます。



国家試験出願

10月9日(火)、3年生全員が1月の介護福祉士国家試験の合格を祈念して、置戸神社にお参りしました。

校内・校外模試もあり、国試合格に向けた受験勉強も本格化しています。目標を立て、計画的に勉強に励む3年生をみんなが応援しています。

体育大会

9月25日(火)に行われました。天候にも恵まれて、スポーツの秋を堪能しました。今年から、新たに玉入れを行いました。意外とどの学年も苦戦していました。1日中、明るく爽やかな応援の中、元気いっぱいのプレーが見られました。

総合優勝は2年生でした。



ムカデ競走。1年生の息ぴったり。



初種目の玉入れ。これが結構難しい。



障害物リレー。麻袋に足を入れてびよんびよん跳ねる。



バレーボール。2年生対3年生！

2年生 介護実習へ

10月12日(金)、10月15日(月)～11月2日(金)の施設実習に向けて2年生を送り出すため、実習許可式がおこなわれました。式では、許可される者の名前が呼ばれると全員元気よく「はい」と返事をして立ち上がりました。許可テストを無事クリアできた2年生は、自信に満ちあふれていました。

2年生代表からは決意表明が、3年生からはエールが送られました。3週間に渡って道内各地の施設でお世話になります。利用者様や職員の方への感謝の気持ちを忘れず、成長して帰ってきてください。



真新しい実習着に着替え無事全員、実習許可証をいただきました。

